

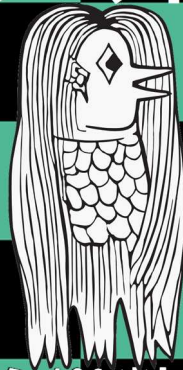
転倒防止に集中!!

STOP! 転倒災害プロジェクト神奈川2023

推進中!

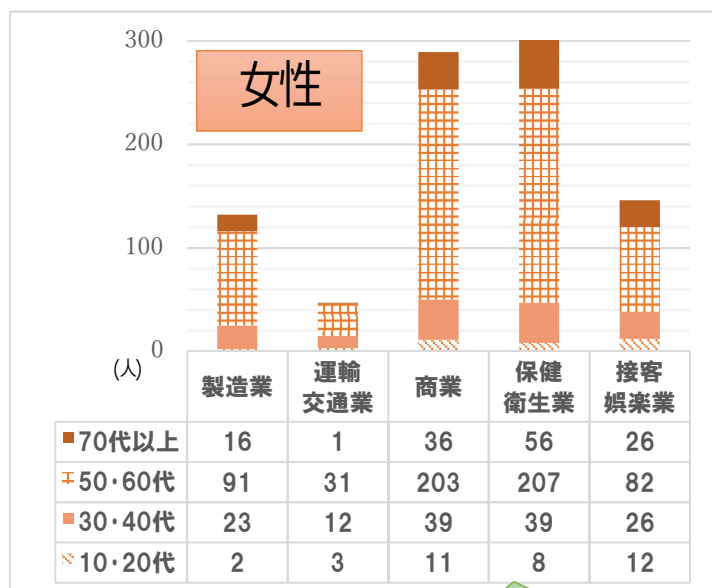
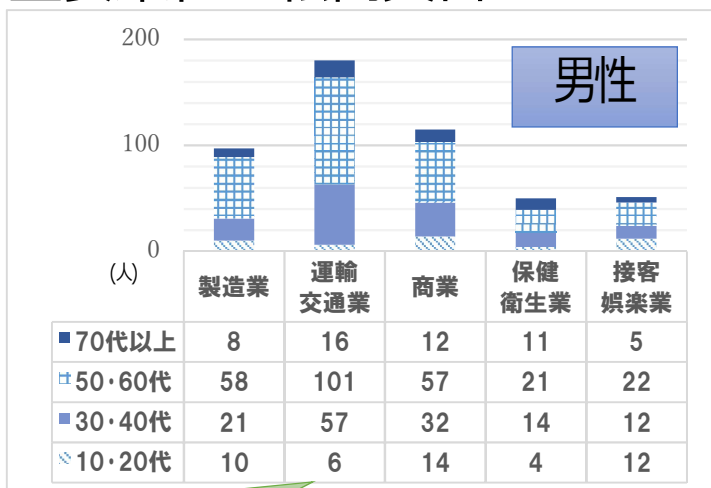
令和4年に神奈川県内で発生した
休業4日以上労働災害での死傷者数は
新型コロナウイルス等を除いて7,792人でした。

※ なお、新型コロナウイルス等を含む休業4日以上労働災害での
死傷者数は16,571人です。



うち転倒災害は1,996人発生し、前年(1,800人)から10%以上増加しました。

主要業種の転倒災害



男性は運送・倉庫内作業のような運輸交通業で
災害が多く発生しています。

災害の多い年齢層は、
50代・60代が中心です。

保健衛生業は病院、社会福祉施設を含みます。
商業はスーパー・コンビニエンスストア等の小売
店を多く含みます。
女性の高齢者比率が高く発生しています。

転倒災害のうち、女性が約6割を占めます。



人はこころが原動力だから
安全意識はどこまでも高くなれる!!

神奈川労働局 労働基準監督署



基本的に、3つの注意（STF注意）を！



確認しましょう

	チェック項目	☑
1	通路、階段、出口に物があれば片づける。 作業場所の整理整頓	<input type="checkbox"/>
2	床の水・氷・油・粉類などを除去、放置しない！ 作業場所の清掃	<input type="checkbox"/>
3	足元の十分な明るさ（照度）を確保。	<input type="checkbox"/>
4	転倒予防の教育を実施。	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は①作業現場にあった耐滑性 & ②適したサイズ。	<input type="checkbox"/>
6	転倒しそうな／転倒のあった場所の危険マップを作成し、周知。	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所・滑りやすい場所に標識で注意喚起。	<input type="checkbox"/>
8	ながらスマホ、ポケットに手を入れ歩く等を禁止！手すり持って階段昇降。	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操・転倒予防体操などを導入 毎日の運動	<input type="checkbox"/>

転倒は腰痛等と併せて「行動災害」です。
 まずは、それらが経済的損失であることを知ること。
 次に、対策の意義を把握。

事業者・発注者のほか、労働者、消費者・サービス利用者など、
 全ての関係者が安全衛生対策について、自身の責任を認識し、
 真摯に取り組むことが求められます。

第14次労働災害防止計画では、実施事項をアウトプット指標とし、エビデンスに基づく取組後、
 効果検証をアウトカム指標により進めることとしています。

体操しましょう



「ころばNICEかながわ体操」

サポートします

日常生活でも発生しうる転倒や腰痛などの
 災害の問題を自分ごととしてとらえ、顧客
 や消費者も含めたステークホルダー全員で
 解決を図っていきましょう。

